

株式会社クボタケミックス 小田原工場

1. 事業概要

| | | |
|------|------------------------------|--|
| 住所 | 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1 |  |
| 従業員数 | 158名 (2017年12月現在) | |
| 敷地面積 | 61292m ² | |
| 事業内容 | 塩ビ管・継手の製造 | |

主要製品

塩ビ管

- ・一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、
- ・HT、電線、三層、二管路、
- ・農水圧力、下水、カラーさや管



▲SGR-NAパイプ



▲カラーさや管

塩ビ継手

- ・TS、HI、DV、VUDV、HT、
- ・リブ、透明、カラー、SGR
- ・ハイゲートバルブ



▲透明継手



▲HTパイプ・継手

工場変遷(沿革)

| | |
|---------|---|
| 1967年3月 | (昭和42年) 久保田鉄工株式会社 小田原工場 ビニルパイプ工場 完成 |
| 1978年 | (昭和53年) SGR-NAパイプ 製造開始 |
| 1981年 | (昭和56年) ポリブデンパイプ 製造開始 松田出荷センター 完成 |
| 1983年 | (昭和58年) ガス用ポリエチレン管 製造開始 |
| 1989年 | (平成元年) PM優秀事業場賞 受賞 |
| 1998年 | (平成10年) ISO9001認証 取得 |
| 1999年 | (平成11年) SGR-NAVH管 製造開始 |
| 2000年 | (平成12年) ISO14001認証 取得 |
| 2001年 | (平成13年) リサイクル三層発泡管 製造開始 |
| 2002年 | (平成14年) リサイクル三層管(ソリッド三層管) 製造開始 小田原西配送センター 完成 |
| 2005年4月 | (平成17年) クボタシーアイ株式会社 設立 |
| 2006年 | (平成18年) ポリブデン管、ガス用ポリエチレン管 栃木・堺工場へ生産拠点変更 |
| 2009年 | (平成21年) 堺工場より、TS継手・HI継手・HT継手生産移管 |
| 2016年5月 | (平成28年) 「株式会社クボタケミックス」へ社名変更 |
| 2018年6月 | (平成30年) 耐火ビニルパイプ 製造開始 |

2.環境方針

ISO環境方針

クボタケミックスグループ 環境方針

クボタケミックスグループは、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。

その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

【理念】

- ・私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざします。
- ・私たちは、環境に配慮した企業活動・製品・技術を通じて、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

【方針】

1. 製品の設計・開発、生産、販売、物流、サービスまでのすべての段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と行動計画を定めて、日常の業務を推進し、継続的に改善する事によって、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進するとともに環境リスクの低減及び環境汚染の未然防止に努めます。
3. 自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
4. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
5. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
6. この環境方針を、当社で働く人、当社の為に働く人 及び 取引先に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
7. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。また、この環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人にも入手可能とします。

平成30年3月6日

株式会社クボタケミックス
ものづくり本部長

長島 孝志

ISO認証取得状況

| | | |
|-------|---------|---------------------------|
| 2000年 | (平成12年) | ISO14001認証取得(審査機関:日科技連) |
| 2011年 | (平成23年) | サーベイランス兼組織統合審査兼拡大審査(登録継続) |
| 2012年 | (平成24年) | 更新審査 受審 (登録継続) |
| 2013年 | (平成25年) | 第1回サーベイランス 受審 (登録継続) |
| 2014年 | (平成26年) | 第2回サーベイランス 受審 (登録継続) |
| 2015年 | (平成27年) | 更新審査 受審 (登録継続) |
| 2016年 | (平成28年) | 第1回サーベイランス 受審 (登録継続) |
| 2018年 | (平成30年) | ISO14001:2015 移行・認証取得 |

株式会社クボタケミックス 小田原工場

3. サイトデータ(2017年1月～12月の実績)

INPUT

| | | |
|----------|-----------------|-------|
| エネルギー使用量 | 原油換算 KL | 7,089 |
| 水使用量 | 万m ³ | 3.0 |

OUTPUT

| | | |
|----------------------------|-------------------|--------|
| エネルギー起源CO ₂ 排出量 | t-CO ₂ | 13,800 |
|----------------------------|-------------------|--------|

| 排出ガス | 主要ばい煙発生施設 | | — | | |
|------|-----------------|----|-----------|-----|-----|
| | 項目 | 単位 | 規制内容 | 規制値 | 測定値 |
| | SO _x | — | ばい煙発生施設なし | | |
| | NO _x | — | | | |
| ばいじん | — | | | | |

| | | | |
|-------|-----|-----------------|-----|
| 排水量 | 合計量 | 万m ³ | 1.0 |
| 汚濁負荷量 | COD | kg/年 | — |
| | 窒素 | kg/年 | — |
| | りん | kg/年 | — |

| 排水 | 放流先 | 項目 | 単位 | C排水口 | | D排水口 | |
|-------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | 規制値 | 測定値 | 規制値 | 測定値 |
| 公共用水域 | | pH | 最小値, 最大値 | 5.8, 8.6 | 8.0, 8.3 | 5.8, 8.6 | 7.6, 8.4 |
| | | BOD | mg/l | 60 | 1 | 60 | 2 |
| | | COD | mg/l | 60 | 1 | 60 | 4 |
| | | 窒素 | mg/l | 120 | 0.4 | 120 | 2 |
| | | りん | mg/l | 16 | 0.1 | 16 | 0.07 |
| | | 六価クロム | mg/l | 0.5 | 0.05 | 0.5 | 0.05 |
| | | 鉛 | mg/l | 0.1 | 0.01 | 0.1 | 0.01 |
| | | COD総量規制値 | kg/日 | — | — | — | — |
| | | 窒素総量規制値 | kg/日 | — | — | — | — |
| | | りん総量規制値 | kg/日 | — | — | — | — |
| 下水道 | | pH | 最小値, 最大値 | — | — | — | — |
| | | BOD | mg/l | — | — | — | — |
| | | COD | mg/l | — | — | — | — |
| | | SS | mg/l | — | — | — | — |

※C排水口測定値はケイミー(株)測定分

| | | |
|--------|---|------|
| 廃棄物排出量 | t | 110 |
| 再資源化率 | % | 99.4 |

| | | |
|--------|---|---|
| VOC排出量 | t | — |
|--------|---|---|

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

| 政令 No. | 物質名称 | 排出量 | | | | 移動量 | |
|--------|---------|-----|-------|-----|------|-----|------|
| | | 大気 | 公共用水域 | 土壌 | 自社埋立 | 下水道 | 場外移動 |
| 239 | 有機スズ化合物 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.6 |
| 305 | 鉛化合物 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50 |

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

株式会社クボタケミックス 小田原工場

4.環境トピックス

- 1) 環境保全中期計画でCO2、水資源、廃棄物の低減を推進しています。
 - ＜CO2＞
 - ・省エネ効果の高い駆動ベルトに交換
 - ・押出金型に保温カバーを設置して熱放出を低減
 - ・コンデンサーの老朽で高効率機に更新
 - ・射出成形機の作動油を省エネ付加価値製品に変更
 - ・チラーの老朽で高効率機に更新
 - ＜水資源＞
 - ・パトロールで漏水箇所抽出、対策と修理実施
 - ＜廃棄物＞
 - ・市役所、県政センターの許可を得て木くず、木パレットを銭湯にボランティア提供
- 2) 地域の美化活動に継続的に参加しています。
 - 酒匂川河川敷清掃「クリーンさかわ」
- 3) 年1回、全従業員対象に環境教育を実施し、環境意識の向上を図っています。
 - 平成29年度環境教育テーマ「生物多様性と廃棄物管理」 (平成29年6月19日～6回開催)



- 4) 「COOL CHOICE」運動
 - 環境省が展開する「COOL CHOICE」運動に賛同し、照明や空調スイッチにマークを掲示してCO2削減に向けた行動を呼びかけています。 (平成28年6月1日～)

5.環境コミュニケーション

① 地域美化活動

- (1) 名称 クリーンさかわ
酒匂川河川敷清掃
日付 平成29年5月14日
参加人数 6名
- (2) 名称 工場周辺公道のゴミ拾い
日付 平成29年11月1日より毎日
※公道から河川に入るゴミを低減して海や川の生物に配慮する活動です。
従業員が出勤時にゴミ拾いをしています。
参加人数 全員参加
- (3) 名称 小田原御幸の浜海岸清掃
日付 平成29年9月30日
参加人数 10名



クボタケミックス小田原工場
生物多様性配慮活動

2017年 11月 4日
2017年11月4日 酒匂川河川敷清掃活動

使ったもの(廃棄物)は次の生物が使いやすいかたちにして出す。

生物多様性に配慮した企業活動

クボタケミックス小田原工場は環境方針として生物多様性に配慮した企業活動、地域社会との関係構築を推進し、社会貢献に努めています。

企業活動として社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。また、生物多様性にも配慮しています。小田原工場では、水、廃棄物、エネルギー、有害化学物質の管理に努めています。また、工場周辺の河川に生物多様性の観点から、河川敷の清掃活動にも積極的に参加しています。

また、工場敷地内においても、このほか、河川や河川敷の環境に配慮した企業活動に取り組んでいます。また、工場敷地内においても、このほか、河川や河川敷の環境に配慮した企業活動に取り組んでいます。

工場周辺公道のゴミ拾い

工場敷地内には、ゴミの発生を抑制しています。

工場敷地内には、ゴミの発生を抑制しています。

工場敷地内には、ゴミの発生を抑制しています。

(2017年11月4日撮影)